

14時30分解禁

平成22年6月 全国百貨店売上高概況

平成22年7月16日

I. 概 況

1. 売上高総額	4,924億円余
2. 前年同月比	-6.0% (店舗数調整後/28か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	92社 265店 (平成22年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,533,495㎡ (前年同月比:-2.3%)
5. 総従業員数	95,714人 (前年同月比:-2.6%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 -7.4%、12-2月 -5.4%、1-3月 -4.9%、 2-4月 -4.2%、3-5月 -3.1%、4-6月 -4.0%

[参考] 平成21年6月の売上高増減率は-8.8% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

28か月連続の前年同月比マイナスとなった。

6月は、欧州の金融・財政危機による急激な円高・株安傾向への転換を背景に、増勢基調にあった宝飾品や輸入雑貨など高額商材の動きが若干鈍化したほか、昨年6月に前倒し実施した夏のクリアランスセールの影響も影響して、年明け以降続いてきた売上回復傾向が足踏みする結果となった。ただし、夏商戦の最盛期にあたる7月上旬までの動向は、全国的に前年実績を上回る勢いで推移している。

具体的な動向としては、早期受注の不振や一部店舗の売上計上時期変更等による中元前半戦の伸び悩み、大都市店舗の改装・増床工事による面積縮小などマイナス要素がある一方、父の日ギフトや雨傘など季節商材の善戦、気温上昇に伴う北日本地区夏物衣料の好調推移、急伸基調にある外国人売上高の倍増(8か月連続二桁増)などのプラス要素が報告されている。

なお、今年半期(1月~6月)の売上高合計は3兆184億円余・対前年伸び率-4.4%となり、昨年同期間の伸び率(-11.0%)から大きく水準を戻した。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 月の前半は全国的に晴れの日が多かったが、後半は梅雨前線が活発化し曇りや雨の日が多く、北日本では周期的に天気が変わった。気温は月前半は低温だったが後半から気温が上がり、特に北日本では顕著な高温となった。

(2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日 (" ±0日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 28店、②変化なし: 34店、③減少した: 73店、④不明: 46店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)

①増加した: 16店、②変化なし: 37店、③減少した: 70店、④不明: 58店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 19店、②変化なし: 56店、③減少する: 48店、④不明: 58店

全国百貨店 売上高速報 2010年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	492,450,902	100.0	-6.0 (-7.4)
10都市	317,469,441	64.5	-6.3 (-7.7)
札幌	11,842,061	2.4	-0.8 (-8.5)
仙台	5,951,953	1.2	-7.5
東京	126,111,452	25.6	-5.5
横浜	29,779,949	6.0	-2.6
名古屋	29,389,513	6.0	-2.1
京都	19,014,384	3.9	-8.3
大阪	58,064,016	11.8	-11.4 (-16.4)
神戸	13,840,023	2.8	-9.4
広島	11,307,965	2.3	-5.6
福岡	12,168,125	2.5	-6.1
10都市以外の地区	174,981,461	35.5	-5.3 (-7.0)
北海道	2,966,025	0.6	6.5 (-31.9)
東北	9,660,016	2.0	-4.5
関東	86,948,572	17.7	-4.4 (-5.8)
中部	13,667,281	2.8	-4.9 (-7.0)
近畿	16,857,761	3.4	-7.6
中国	11,865,133	2.4	-7.3
四国	8,541,277	1.7	-9.8
九州	24,475,396	5.0	-6.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	492,450,902	100.0	-6.0 (-7.4)
紳士服・洋品	35,669,007	7.2	-6.3 (-7.7)
婦人服・洋品	105,513,267	21.4	-4.7 (-6.1)
子供服・洋品	9,390,401	1.9	-9.2 (-10.4)
その他衣料品	13,043,027	2.6	-10.9 (-12.4)
衣 料 品	163,615,702	33.2	-5.8 (-7.2)
身のまわり品	60,070,684	12.2	-5.4 (-7.4)
化粧品	26,715,945	5.4	-0.3 (-1.5)
美術・宝飾・貴金属	23,693,133	4.8	-6.4 (-9.5)
その他雑貨	19,242,524	3.9	-7.3 (-9.9)
雑 貨	69,651,602	14.1	-4.4 (-6.7)
家 具	6,217,796	1.3	-11.3 (-12.4)
家 電	1,789,634	0.4	0.1 (-8.0)
その他家庭用品	16,216,939	3.3	-3.7 (-5.2)
家 庭 用 品	24,224,369	4.9	-5.5 (-7.4)
生 鮮 食 品	32,270,761	6.6	-7.0 (-7.6)
菓 子	34,073,977	6.9	-4.4 (-5.0)
惣 菜	27,547,327	5.6	-5.2 (-5.6)
その他食料品	51,507,343	10.5	-13.1 (-14.5)
食 料 品	145,399,408	29.5	-8.4 (-9.3)
食 堂 喫 茶	13,430,115	2.7	-7.8 (-9.0)
サ ー ビ ス	5,341,023	1.1	-2.6 (-3.7)
そ の 他	10,717,999	2.2	15.6 (15.2)
商 品 券	26,631,483	5.4	8.3 (7.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | －6.3% (店舗数調整後／28か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | －5.3% (〃 ／36か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	－6.3	－4.1	28か月連続マイナス
札幌	－0.8	0.0	4か月連続マイナス
仙台	－7.5	－0.1	26か月連続マイナス
東京	－5.5	－1.4	28か月連続マイナス
横浜	－2.6	－0.2	2か月ぶりマイナス
名古屋	－2.1	－0.1	31か月連続マイナス
京都	－8.3	－0.3	2か月ぶりマイナス
大阪	－11.4	－1.4	28か月連続マイナス
神戸	－9.4	－0.3	2か月ぶりマイナス
広島	－5.6	－0.1	28か月連続マイナス
福岡	－6.1	－0.2	23か月連続マイナス
10都市以外の地区	－5.3	－1.9	36か月連続マイナス
北海道	6.5	0.0	13か月連続プラス*
東北	－4.5	－0.1	27か月連続マイナス*
関東	－4.4	－0.8	36か月連続マイナス
中部	－4.9	－0.1	27か月連続マイナス
近畿	－7.6	－0.3	27か月連続マイナス
中国	－7.3	－0.2	25か月連続マイナス*
四国	－9.8	－0.2	36か月連続マイナス
九州	－6.1	－0.3	34か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。また、家電が2か月ぶりにプラスとなり、化粧品が先月より改善する動きとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-6.0	—	28か月連続マイナス
紳士服・洋品	-6.3	-0.5	27か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.7	-1.0	36か月連続マイナス
子供服・洋品	-9.2	-0.2	22か月連続マイナス
その他衣料品	-10.9	-0.3	28か月連続マイナス
衣料品	-5.8	-1.9	36か月連続マイナス
身のまわり品	-5.4	-0.7	34か月連続マイナス
化粧品	-0.3	0.0	19か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-6.4	-0.3	40か月連続マイナス*
その他雑貨	-7.3	-0.3	31か月連続マイナス*
雑貨	-4.4	-0.6	28か月連続マイナス
家具	-11.3	-0.2	31か月連続マイナス
家電	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-3.7	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-5.5	-0.3	3か月連続マイナス
生鮮食品	-7.0	-0.5	17か月連続マイナス*
菓子	-4.4	-0.3	2か月連続マイナス*
惣菜	-5.2	-0.3	25か月連続マイナス*
その他食料品	-13.1	-1.5	2か月連続マイナス*
食料品	-8.4	-2.5	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-7.8	-0.2	23か月連続マイナス
サービス	-2.6	0.0	3か月ぶりマイナス
その他	15.6	0.3	3か月連続プラス
商品券	8.3	0.4	8か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成22年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年7月16日

I. 概況

1. 売上高総額	1,261億円余
2. 前年同月比	-5.5% (28か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-5.5%(88.9%) : 非店頭-5.7%(11.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成22年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	934,266㎡ (前年同月比:-1.3%)
6. 総従業員数	20,850人 (前年同月比:+8.6%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 -8.2%、12-2月 -6.5%、1-3月 -6.3%、 2-4月 -5.4%、3-5月 -4.0%、4-6月 -4.1%

[参考] 平成21年6月の売上高増減率は-11.4% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

- (1) 6月の中元商戦は総じて出足が鈍く前年実績には届かない状況であった。単価は前年並みを維持したが、送り先件数をやや絞り込む傾向が出ている。また、全般的に低調な中でも自家需要購買が大きな伸びを示したことが特徴となっている。
- (2) 年々直近需要の比重が増している父の日ギフトについては、今年話題の「柄(がら)ステテコ」のほか、ポロシャツ等の軽衣料や洋品雑貨などが堅調に推移した。
- (3) 梅雨入りが遅れた東京地区では、好天が続いた月前半は化粧品・帽子・サングラス等UV対策商材が、後半はレインシューズや雨傘等の梅雨対策商材がそれぞれ良く動いた。
- (4) ブライダル需要を取り込むべく、都内各店でフェア開催などプロモーションを強化した結果、多くの店で婦人アクセサリが前年をクリアする結果となった。
- (5) 7月第一週のクリアランス立ち上がりは、ほぼ二桁増で推移するなど活況であったが、二週目以降ペースダウンし、中盤までの動向ではほぼ前年並みの状況となっている。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 8店、③減少した: 9店、④不明: 3店
- (3) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 5店、③減少した: 11店、④不明: 5店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 3店、②変化なし: 11店、③減少する: 5店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2010年06月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	126,111,452	100.0	-5.5
紳士服・洋品	9,744,064	7.7	-3.6
婦人服・洋品	24,030,983	19.1	-7.7
子供服・洋品	1,725,181	1.4	-7.0
その他衣料品	2,639,375	2.1	-15.1
衣 料 品	38,139,603	30.2	-7.3
身のまわり品	16,496,773	13.1	-6.3
化粧品	6,650,198	5.3	-0.1
美術・宝飾・貴金属	6,545,979	5.2	-5.4
その他雑貨	6,285,102	5.0	-8.6
雑 貨	19,481,279	15.4	-4.7
家 具	1,871,611	1.5	-7.9
家 電	828,771	0.7	28.3
その他家庭用品	4,172,401	3.3	-0.4
家 庭 用 品	6,872,783	5.4	0.1
生 鮮 食 品	5,808,187	4.6	-8.5
菓 子	8,817,461	7.0	-7.9
惣 菜	6,383,599	5.1	-9.5
その他食料品	15,029,324	11.9	-6.5
食 料 品	36,038,571	28.6	-7.7
食 堂 喫 茶	2,974,006	2.4	-14.0
サ ー ビ ス	2,139,562	1.7	9.9
そ の 他	3,968,875	3.1	35.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	9,483,370 千円	62.3
従 業 員 数	20,850 人	8.6
店 舗 面 積	934,266 m ²	-1.3

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が4か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品。このプラスの要因は、その他家庭用品も健闘したが、家電が2か月ぶりにプラスとなり、28.3%と大きく伸長したことによる。また、全国同様化粧品が先月より改善する動きとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-5.5	—	28か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.6	-0.3	27か月連続マイナス
婦人服・洋品	-7.7	-1.5	23か月連続マイナス
子供服・洋品	-7.0	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-15.1	-0.4	26か月連続マイナス
衣料品	-7.3	-2.2	23か月連続マイナス
身のまわり品	-6.3	-0.8	27か月連続マイナス
化粧品	-0.1	0.0	19か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-5.4	-0.3	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-8.6	-0.4	25か月連続マイナス*
雑貨	-4.7	-0.7	26か月連続マイナス
家具	-7.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	28.3	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-0.4	0.0	4か月ぶりマイナス
家庭用品	0.1	0.0	4か月連続プラス
生鮮食品	-8.5	-0.4	2か月連続マイナス*
菓子	-7.9	-0.6	2か月連続マイナス*
惣菜	-9.5	-0.5	27か月連続マイナス*
その他食料品	-6.5	-0.8	2か月連続マイナス*
食料品	-7.7	-2.3	21か月連続マイナス
食堂喫茶	-14.0	-0.4	20か月連続マイナス
サービス	9.9	0.1	3か月連続プラス
その他	35.5	0.8	3か月連続プラス
商品券	62.3	2.7	11か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

全国百貨店 売上高速報 2010年01月～2010年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	3,018,431,264	100.0	-4.4 (-6.1)
10都市	1,927,833,954	63.9	-4.6 (-6.2)
札幌	74,835,025	2.5	-1.7 (-9.3)
仙台	38,890,658	1.3	-7.7
東京	744,888,891	24.7	-5.2 (-6.7)
横浜	171,399,023	5.7	-2.1
名古屋	179,966,935	6.0	-3.3
京都	120,508,091	4.0	-4.2
大阪	363,728,918	12.1	-5.6 (-9.7)
神戸	83,761,938	2.8	-3.0
広島	69,761,301	2.3	-5.2
福岡	80,093,174	2.7	-3.8
10都市以外の地区	1,090,597,310	36.1	-4.2 (-5.8)
北海道	18,909,270	0.6	9.8 (-19.4)
東北	61,274,980	2.0	-4.8
関東	531,309,823	17.6	-3.7 (-4.4)
中部	86,091,752	2.9	-3.6 (-5.4)
近畿	100,110,905	3.3	-5.1
中国	74,171,499	2.5	-6.2
四国	56,063,760	1.9	-7.2
九州	162,665,321	5.4	-5.0 (-8.8)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	3,018,431,264	100.0	-4.4 (-6.1)
紳士服・洋品	214,327,855	7.1	-6.5 (-7.9)
婦人服・洋品	719,908,887	23.9	-6.0 (-7.6)
子供服・洋品	91,278,640	3.0	-5.6 (-6.3)
その他衣料品	83,171,822	2.8	-7.6 (-9.3)
衣 料 品	1,108,687,204	36.7	-6.2 (-7.7)
身のまわり品	378,832,738	12.6	-4.0 (-6.5)
化粧品	159,392,664	5.3	-1.7 (-2.9)
美術・宝飾・貴金属	132,953,981	4.4	-2.4 (-5.6)
その他雑貨	128,711,667	4.3	-7.1 (-9.8)
雑 貨	421,058,312	13.9	-3.6 (-5.9)
家 具	40,089,773	1.3	-7.0 (-8.7)
家 電	9,777,919	0.3	-4.9 (-7.0)
その他家庭用品	103,984,192	3.4	-1.1 (-2.7)
家 庭 用 品	153,851,884	5.1	-3.0 (-4.6)
生 鮮 食 品	168,005,941	5.6	-3.5 (-4.3)
菓 子	214,681,718	7.1	-2.0 (-2.9)
惣 菜	163,514,553	5.4	-4.2 (-4.8)
その他食料品	228,920,026	7.6	-3.9 (-5.9)
食 料 品	775,122,238	25.7	-3.3 (-4.5)
食 堂 喫 茶	84,557,559	2.8	-5.7 (-7.1)
サ ー ビ ス	34,308,558	1.1	-2.5 (-3.6)
そ の 他	62,012,771	2.1	3.1 (2.6)
商 品 券	116,722,810	3.9	12.6 (11.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2010年01月～2010年06月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	744,888,891	100.0	-5.2 (-6.7)
紳士服・洋品	58,445,033	7.8	-6.6 (-8.0)
婦人服・洋品	161,614,723	21.7	-8.9 (-10.5)
子供服・洋品	17,946,016	2.4	-4.9 (-5.3)
その他衣料品	16,517,059	2.2	-10.0 (-12.4)
衣 料 品	254,522,831	34.2	-8.2 (-9.7)
身のまわり品	101,235,246	13.6	-5.0 (-7.7)
化粧品	39,482,073	5.3	-2.8 (-3.2)
美術・宝飾・貴金属	36,749,949	4.9	-1.3 (-3.5)
その他雑貨	40,438,504	5.4	-8.6 (-9.1)
雑 貨	116,670,526	15.7	-4.5 (-5.4)
家 具	12,310,735	1.7	-3.6 (-6.0)
家 電	3,919,838	0.5	-4.2 (-4.2)
その他家庭用品	27,598,560	3.7	1.1 (-0.4)
家 庭 用 品	43,829,133	5.9	-0.8 (-2.4)
生 鮮 食 品	27,654,550	3.7	-3.4 (-4.4)
菓 子	49,998,547	6.7	-4.2 (-5.3)
惣 菜	36,245,636	4.9	-5.4 (-6.3)
その他食料品	59,617,530	8.0	-3.6 (-4.8)
食 料 品	173,516,263	23.3	-4.1 (-5.2)
食 堂 喫 茶	18,775,280	2.5	-10.2 (-11.3)
サ ー ビ ス	13,857,380	1.9	6.8 (6.5)
そ の 他	22,482,232	3.0	6.9 (6.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	40,518,451 千円	106.7 (103.5)
従 業 員 数	124,577 人	10.4
店 舗 面 積	5,630,004 m ²	-3.7

営 業 日 数	30.0 日	前 年	29.7 日
---------	--------	-----	--------

全国百貨店上半期(1月～6月)売上高

半期	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2010(平成22年)上半期	3,018,431,264	※ -4.4(-6.1)
2009(平成21年)上半期	3,213,385,487	-11.0(-11.2)
2008(平成20年)上半期	3,617,120,643	-2.8(-2.7)
2007(平成19年)上半期	3,718,504,946	0.6(0.1)
2006(平成18年)上半期	3,714,074,471	-0.3(-0.4)
2005(平成17年)上半期	3,730,634,925	-1.4(-1.9)
2004(平成16年)上半期	3,801,563,776	-2.0(-2.0)
2003(平成15年)上半期	3,878,032,737	-2.8(-2.8)
2002(平成14年)上半期	3,988,301,208	-1.7(-2.2)
2001(平成13年)上半期	4,078,302,038	-0.5(-2.8)
2000(平成12年)上半期	4,194,845,647	-1.2(-1.4)

東京地区百貨店上半期(1月～6月)売上高

半期	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2010(平成22年)上半期	744,888,891	※ -5.2(-6.7)
2009(平成21年)上半期	798,173,373	-11.9(-11.5)
2008(平成20年)上半期	902,383,525	-1.8(-1.3)
2007(平成19年)上半期	913,869,134	0.6
2006(平成18年)上半期	908,216,605	-0.3
2005(平成17年)上半期	911,193,815	-2.3
2004(平成16年)上半期	932,493,336	-3.4
2003(平成15年)上半期	965,710,296	-3.8
2002(平成14年)上半期	1,003,594,255	-3.0
2001(平成13年)上半期	1,034,915,429	0.7(-0.7)
2000(平成12年)上半期	1,042,297,743	-1.1(-2.6)

※ は 店 舗 数 調 整 後 、 () は 調 整 前

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>